

食物学科 管理栄養士専攻

教育目標

社会や環境の変化に対応し、個人の身体状況や栄養状態などを総合的に判断しながら、適切な栄養・食に関する教育ができる実践力のある人材を育成する。

専攻が求める学生像

- 1 「食べ物」や「健康」に携わり、人の命を預かる医療職としての使命や責任を身につける。
- 2 人の体や機能および病気のメカニズムを知り、健康状態を適切に評価することで、個々人に適した安全で健康に良い食べ物を提供できる運営管理能力を身につける。
- 3 身近な人・家庭から地域ならびに社会における人々の健康増進および疾病予防のために適切な栄養教育が実践できる能力を身につける。

4 年間の学び

1 年次には、大学生としての教養を高めるとともに、食にかかわる知識と技術を習得するための基礎力を養います。また、人体の構造・機能に関する知識と管理栄養士の職域を理解し、各自が専門職としての目標を考える。

2 年次には、基礎専門領域(病気の仕組み、食品・食べ物と健康のかかわり、栄養学等)を中心に、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学等の専門科目の履修も始まる。

3 年次には、専門領域について、広く深く学習します。また、専門科目の知識を学外で実践する実習(臨地実習・校外実習)があり、管理栄養士としての将来を見出すようにする。

4 年次には、専門領域の総まとめとして、総合演習において研究課題に取り組み、プレゼンテーションへと展開する。さらに国家試験に向けた学習を全力で行う。

履修モデル

(なお、卒業に必要な単位数は全学共通科目 28 単位、学部共通科目 4 単位、必修科目 91 単位、選択必修科目 2 単位、選択科目(栄養書免許取得必修科目含む)14 単位)

1 幅広い職域での管理栄養士を目指す

学年	全学共通科目	学部共通科目	必修科目	栄養士免許取得必修科目	選択必修科目	選択科目	履修上限単位数 (学年)
1 年	11 科目 (22 単位)	2 科目 (4 単位)	14 科目 (23 単位)			化学Ⅰ 化学Ⅱ 基礎生物学	56 単位
2 年	2 科目 (4 単位)		22 科目 (36 単位)			機能性食品学 スポーツ栄養論 スポーツ栄養論実習 セルフメディケーション概論 栄養・健康情報論	45 単位
3 年	1 科目 (2 単位)		18 科目 (30 単位)	臨地実習指導 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ	卒業研究 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ } 1 つ選択	スポーツ科学論<集中>	45 単位
4 年			1 科目 (2 単位)			管理栄養士総合演習	45 単位

2 管理栄養士にさらに栄養教諭、食品衛生監視員(任用資格)の資格をプラスする

学年	全学共通科目	学部共通科目	必修科目	栄養士免許取得必修科目	選択必修科目	選択科目	履修上限単位数 (学年)
1 年	11 科目 (22単位)	2 科目 (4 単位)	14 科目 (23 単位)			化学 I ■ 化学 II ■ 基礎生物学 食文化論	56 単位
2 年	2 科目 (4 単位)		22 科目 (36 単位)			食品微生物学■ 食品微生物学実験■	45 単位
3 年	1 科目 (2 単位)		18 科目 (30 単位)	臨地実習指導 臨地実習 I 臨地実習 II	卒業研究 卒業論文 I 卒業論文 II } 1 つ選択	学校栄養教諭論 I (教職科目) 学校栄養教諭論 II (教職科目)	45 単位
4 年			1 科目 (2 単位)			管理栄養士総合演習	45 単位

■は食品衛生管理者及び食品衛生監視員に任用のための単位修得を希望する場合に履修しなければならない科目